

午王山遺跡保存活用計画策定委員会
令和3年度 第1回書面会議 会議要録

委員名	対象	意見有無	指摘事項	事務局としての方針
石川 委員長	全般	あり	※石川委員長とは5月31日にオンラインミーティングを行い、保存活用計画全般にわたる修正要点等ご意見をいただきました。	
保科委員	第1章～6章	なし	なし	
	第7章	なし	なし	
	第8章	あり	ガイダンス施設の具体的な内容について、今後の検討をお願いしたい。	ガイダンス施設の詳細については、今後策定する午王山遺跡保存活用計画基本構想等の中で引き続き検討いたします。
	第9章	なし	なし	
	第10章	なし	なし	
	第11章	なし	なし	
鳥飼委員	全体	なし	なし	
宮原委員	第1章～6章	なし	なし	
	第7章	あり	(1) P51 ③学校教育との連携 体験学習の場として→弥生時代の体験学習の場として	ご指摘の内容について、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。
			(2) P52 ⑦環境に優しい持続可能な取組の推進 「環境にやさしい」の記述に関して、「環境」の対象を具体的にした方がよいかと思えます。 記述されている「環境」についての内容が不明瞭なので、「自然の素材を用いることの配慮」と「環境にやさしい」の関係性が分かりづらいように感じました。 「環境」が地球環境(脱炭素社会構築などの地球環境保全)を意味しているのか。それとも、自然科学的な意味ではなく、歴史文化的環境(景観保全)を指しているのか明確にした方がよいと思えます。	ご指摘の箇所について再度考え方を整理し、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。
	第8～11章	なし	なし	
全体	あり	IT技術 → IT	ご指摘のとおり修正いたします。	
上原委員	全体	なし	なし	

加藤委員	全体	なし	なし	
磯委員	第1～6章	なし	なし	
	第7章	なし	午王山遺跡と共に、周辺の文化財についての掘り起こしによる多くの観光集客を期待したい旨の活用理念には、大いに賛同します。また、青少年や市民との共同活動についても実現を強く期待します。	今後、様々な場面で市民参加の機会を設けるなど工夫してまいります。また講演会等を企画し、和光市の歴史や文化財に対する関心を深めていただくような機会を設けてまいります。
	第8章	なし	地域の理解を得るためにも、遺跡における明示は重要と考えますので、ぜひよろしくお願いいたします。また、ガイダンス施設の設置は確実に実現されますよう、着実な検討を期待します。	ガイダンス施設の詳細については、今後策定する午王山遺跡保存活用計画基本構想等の中で引き続き検討いたします。
	第9章	なし	運営体制の強化は、必要不可欠と思っておりますので、ぜひ実現をお願いします。	
	第10章	なし	講演会、シンポジウムの開催は大変に有効だと思いますので、継続的な実施をよろしくお願いいたします。	
	第11章	なし	なし	
関口委員	第1章	あり	(4) 他の計画との関係(第2図) ページ4 上位計画と、関連する他の計画の「整合性」を示す(第2図)を、「準拠」の関係も含めて、事務局で再度、お示しください。「教育振興基本計画」は、市の最上位計画である「第五次和光市総合振興計画基本構想」と整合性を図りながら策定されています。また、「和光市教育大綱」では、市長が、その地域の実情に応じ、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めません。新市長による「和光市教育大綱」によっては、関連計画の見直しが生じるかもしれません。	第2図の他の計画との関係については、改めて整理の上、図を変更いたしました。「和光市教育大綱」によって関連計画の見直しが生じた場合は、その内容を踏まえて変更する箇所が生じる可能性がありますので、ご承知おきください。
			表記について、「和光市シティプロモーション」を「和光市シティプロモーション推進方針」と書かれては、	ご指摘のとおり修正いたします。

	第2章	あり	「第4図 和光市の湧水マップ」について、「和光市自然環境マップ」は、2021年3月に改訂版が作成されました。2017年3月作成の旧マップを差しかえて下さい。	ご指摘のとおり、図を差替えます。
	第3～6章	なし	なし	
	第7章	あり	大イチョウは、「令和3年3月3日指定、和光市景観重要樹木」に指定されました。	ご指摘のとおり、情報を追記いたします。
	第8章	あり	「歴史文化を活かしたまちづくり」の「まちづくり」とは、具体的に、出来る範囲で、書き込み、説明して頂きたいです。	「まちづくり」に関するご指摘の内容について考え方を整理して記載内容の確認をいたします。
			今後、市民参画による意見抽出も計画づくりには大切だと思います。	保存活用計画については、パブリックコメントの手法をとる予定です。今後、次の史跡整備構想等の策定を行う際には、その策定目的に応じた最適な市民参加・参画の手法を取り入れたいと考えております。
	第9章	なし	なし	
	第10章	なし	なし	
	第11章	あり	「進行管理の方法」より具体的な計画の進行管理方法を書き込めないでしょうか。たとえば、PDCAサイクル、OODAループ等です。	ご指摘の内容について、進行管理の方法については、再度事務局において検討いたします。
渡辺委員	第1～6章	あり	○6ページ 5行目 【誤】 <u>修造量</u> に限界が・・・ 【正】 <u>収蔵量</u> に限界が・・・ ○6ページ 課題解決に向けた取組内容の表中 ①午王山遺跡の整備 【誤】及び活用に向けた <u>取り組み</u> を 【正】及び活用に向けた <u>取組</u> を ○7ページ 11行目 【誤】 和光市シティプロモーション 【正】 和光市シティプロモーション <u>推進方針</u>	ご指摘のとおり修正いたします。
	第7～11章	なし	なし	

柿沼委員	第1章	あり	6頁5行目 中ほど 「修造量」は「收藏量」に。 6頁下から4行目冒頭「和光市の」は1角アケ。	ご指摘のとおり修正いたします。
	第2章	あり	※柿沼委員からは字句の修正のご指摘を多数いただきました。誤字のご指摘については、ご指摘のとおり修正いたします。	誤字の指摘については、ご指摘のとおり修正いたします。
			○15頁 下から8行目 「久ヶ原3式土器」→「久ヶ原Ⅲ式土器」に。 ○「岩鼻式土器の南下」の項に、岩鼻式土器と久ヶ原Ⅰ式土器の写真。 ○16頁「下戸塚式土器の北上と集落群」の項に、下戸塚式土器と久ヶ原Ⅱ式土器の写真。○18頁 6行目「開始するのである。和光市では、午王山遺跡の東北東約600mの自然堤防上にある榎堂遺跡（第7図○）が低地性集落である。そして、戸田市鍛冶谷・新田口」と赤字部分を挿入する。 ○22頁9行目の中ほど 「古墳時代中期ごろ（5世紀）」と赤字を挿入。 ○22頁ないしは23頁に、総括報告書第9図のような午王山遺跡全体図の挿入を望む。 ○22頁14行目「第3表（32頁）」と赤字を挿入。 ○22頁15行目「ある」をトルツメ。 ○22頁17行目「弥生時代から古墳時代前期」の赤字をトルツメ。 ○22頁下から5行目「環濠と住居跡には機能した時間に差があることが」は「環濠が機能した時間が限定的であることが」に改める。 ○24頁2行目「武蔵野台地北縁でも白子川以北では、中期後半において環濠をもつような規模の大きい集落は稀であり、」と赤字を挿入する。 ○25頁3行目中ほどから5行目「4軒	ご指摘のとおり修正いたします。

		<p>で、1・3号住は大型で隅が丸い。」を「4軒で、72号住・97号住は隅丸長方形で地床炉が複数あり、岩鼻式系統の住居である。」続けて「1号住・3号住は楕円形に近い形状で、3号住からは岩鼻式は出土せず久ヶ原I式のみ構成であることから東京湾西岸系統の人びとの住居かもしれない。」とする。</p> <p>○26頁5行目中ほど「大きく古・中・新段階」を「大きく古・中・新期」とする。</p> <p>○26頁6行目「中段階から新段階に」を「中期から新期に」とする。</p> <p>○27頁 第18図キャプション末尾「下戸塚式中・古期」と赤字を入れる。</p> <p>○28頁下から4行目中ほど「下戸塚式新段階」を「下戸塚式新期」とする。</p> <p>○29頁4行目「耕地の存在、」「斜面林を始めとする」の間に、「農耕以外の食糧獲得手段（堅果類採集・狩猟）の場である」を挿入する。</p> <p>○4・5行目「環境復元」の後に、「低地帯における淡水漁労の痕跡、水上交通を裏付ける運河（溝状遺構）や船着き場などの遺構の有無の確認なども」と赤字を挿入する。</p> <p>○27行目中ほど「令和2年（2002）」と赤字を挿入。</p>	
第3章	あり	<p>○39頁19行目から25行目は次のように。</p> <p>岩鼻式2期古段階 72号住・97号住は、隅丸長方形で地床炉が複数ある岩鼻式系統。</p> <p>1・3号住は楕円形で、3号住は出土土器が久ヶ原I式古段階。</p> <p>久ヶ原式系統。</p> <p>岩鼻式2式新段階 74号住・108号住・124号住は、隅丸長方形で地床炉が複数ある岩鼻式系統。</p>	ご指摘のとおり修正いたします。

		<p>137号住は楕円形状で土器は久ヶ原I式新段階。</p> <p>岩鼻式と久ヶ原式両系統の混在が継続。</p> <p>岩鼻式3期 81号住・141号住は隅丸長方形で地床炉が複数あり、主炉は北壁寄りに偏在。</p> <p>下戸塚式期 楕円形ないし小判形で、炉は1箇所で火皿式炉が目立つ。</p> <p>29行目冒頭 「字条」は「字状」に。</p> <p>40頁 5行目 「銅釧の出土など」と赤字を入れる。</p>	
		<p>40頁後のA4の表は、事実関係を精査して作成してください。奈良・平安時代の住居の扱いをどうするか。その他の要素に加えるか検討を要する。</p>	<p>ご指摘をもとに、「史跡の構成要素一覧」につきましては、再度中身の精査をいたします。</p>
第4章	なし		
第5章	あり	<p>第4章と第5章は、それぞれが章とするには、内容が薄い。併せて第4章とし、次のような構成にしてみようか。</p> <p>第4章 午王山遺跡の保存と活用に関する基本方針</p> <p>(1) 午王山遺跡の現状と課題</p> <p>(2) 午王山遺跡の保存と活用に関する基本方針</p> <p>今後、もっと内容を膨らませるのならば、別だが。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。章構成については、文化庁の保存活用計画の指針に準拠しておりますため、構成はそのまま進めさせていただきます。</p> <p>内容については、再度精査をさせていただきます。</p>
第6章	あり	<p>46頁 表 最下段 「植栽」は「樹木」。</p> <p>50頁 表 最下段 「植栽」は「樹木」。</p>	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>
第7章	あり	<p>次の2箇所の添削。</p> <p>51頁 (2)②の2行目中ほど 「観察される」は「観察できる」。</p> <p>52頁 (3)の3行目「周辺の遊水地」は「周辺」をとり、「遊水池」とする。周辺の文化財は、和光駅の北東側ののみを取り上げている。湧水は白子川沿いの南側に多いのではないのか。10頁の湧水マップを活かすべき。「白子宿」の町並み、熊野神社富士塚、氷川神社富士</p>	<p>ご指摘の内容について、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。</p>

			塚など遊水池と絡めた歴史遺産も捨てがたい。ネットワークは広げた方がよい。	
	第8章	あり	55頁(1)②の2行目「18mで、」を「18mを測り、」とする。 56頁(2)の2行目中ほど「地権者同意」を「地権者の同意」とする。 (2)の4行目「事業について」を「事業を」とする。 57頁から58頁の{1}から(6)の冒頭を、一角アケル。	ご指摘のとおり修正いたします。
	第9～11章	なし	なし	
小賀坂委員	第1章	あり	P.7 都市計画マスタープラン 計画書案の記載内容は～2020のもの。令和4年3月までに改定予定であるため、記載内容については改定案や改定時期を踏まえて調整させてほしい。	ご指摘の内容について、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。
	第2章	あり	P.11 午王山遺跡の位置と立地(最終段落、写真) 午王山北側露頭の箇所は、安全対策で盛土される予定の区域である。 記述については支障ないが、希少なものであるとして保存を要する場合は、安全対策の実施に支障がない方法としてほしい。	ご指摘の内容について、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。
	第3章	あり	P.40 最終行 (第5表～)は次ページの表上部に記載では	ご指摘のとおり修正いたします。
	第4章	あり	P.41 【現状】面積が空欄	ご指摘の内容について、面積が決定し次第、活用計画の中に反映いたします。
	第5章	なし	なし	

第6章	あり	<p>P.45 第24図 地区区分図</p> <p>「今後の合意形成、関係機関協議及び他の計画等により、各区の区域は変わる可能性がある」旨を記載することを検討してほしい。</p> <p>P.46～48 (2) 保存管理の方法 表番号が空欄</p>	<p>ご指摘の内容について、活用計画の中に反映できるよう検討いたします。</p>
第7章	あり	<p>P.53 長照寺の大イチョウ</p> <p>令和3年3月に景観重要樹木にも指定したため、追記してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>
第8～11章	なし	なし	